



第11期第3四半期 決算補足資料

FY2021 3rd Quarter
2020.3.1~2020.11.30
Financial results

SFPホールディングス株式会社 証券コード：3198 (TYO)

Index

2021年2月期3Q 業績ハイライト(連結)	3P
売上高(業態別)・原価率の四半期推移	4P
現預金の四半期推移	5P
既存店前年比(コロナ禍)	6P
販管費抑制の効果(3Q累計)	7P
損益計算書(連結)	8P
貸借対照表(連結)	9P
出退店の状況	10P
コロナ禍の取組み	11P
今後の取組み	14P
業績ガイダンス(変更あり)	15P
Appendix	16P

業績のハイライト（連結）

- 2021年2月期3Q、全店通常営業を再開、売上高は既存店前年比76%(10月)まで回復
- コスト抑制の取り組みを通じて、販管費の前年同期比は△24%、営業赤字が大幅縮小
- Go Toキャンペーンへの参加、テイクアウト・デリバリーの強化など売上UP施策の展開
- 3Q末までに22店舗の退店、（現時点で更に26店舗の退店を意思決定済み）

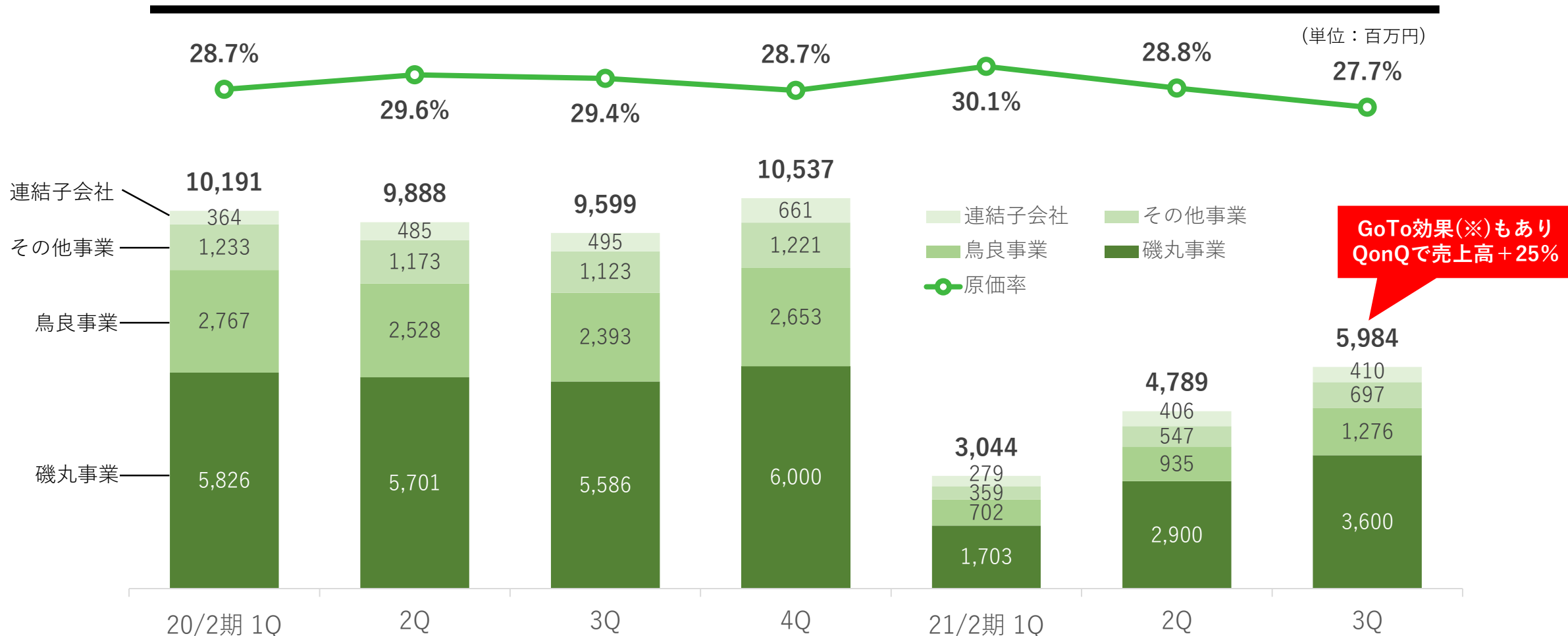
(百万円)	2021年2月期				2020年2月期	前期比	
	1Q (20年3月～5月)	2Q (20年6月～8月)	3Q (20年9月～11月)	3Q累計 (20年3月～11月)	3Q累計 (19年3月～11月)	増減	前期比
売上高	3,044	4,789	5,984	13,818	29,679	△15,860	△ 53.4%
営業利益	△1,580	△1,417	△382	△3,380	1,821	△5,201	-
経常利益	△1,470	△1,311	△275	△3,058	2,102	△5,161	-
税引前利益	△2,084	△1,210	△446	△3,741	1,881	△5,623	
純利益	△1,465	△828	△1,212	△3,506	1,188	△4,695	-

百万円未満は切り捨てて表示

売上高(業態別)・原価率の四半期推移

■ Go Toキャンペーン効果(10~11月)を取り込み、売上高は各業態で順調に回復、原価率は抑制維持

売上高(業態別)・原価率の四半期推移

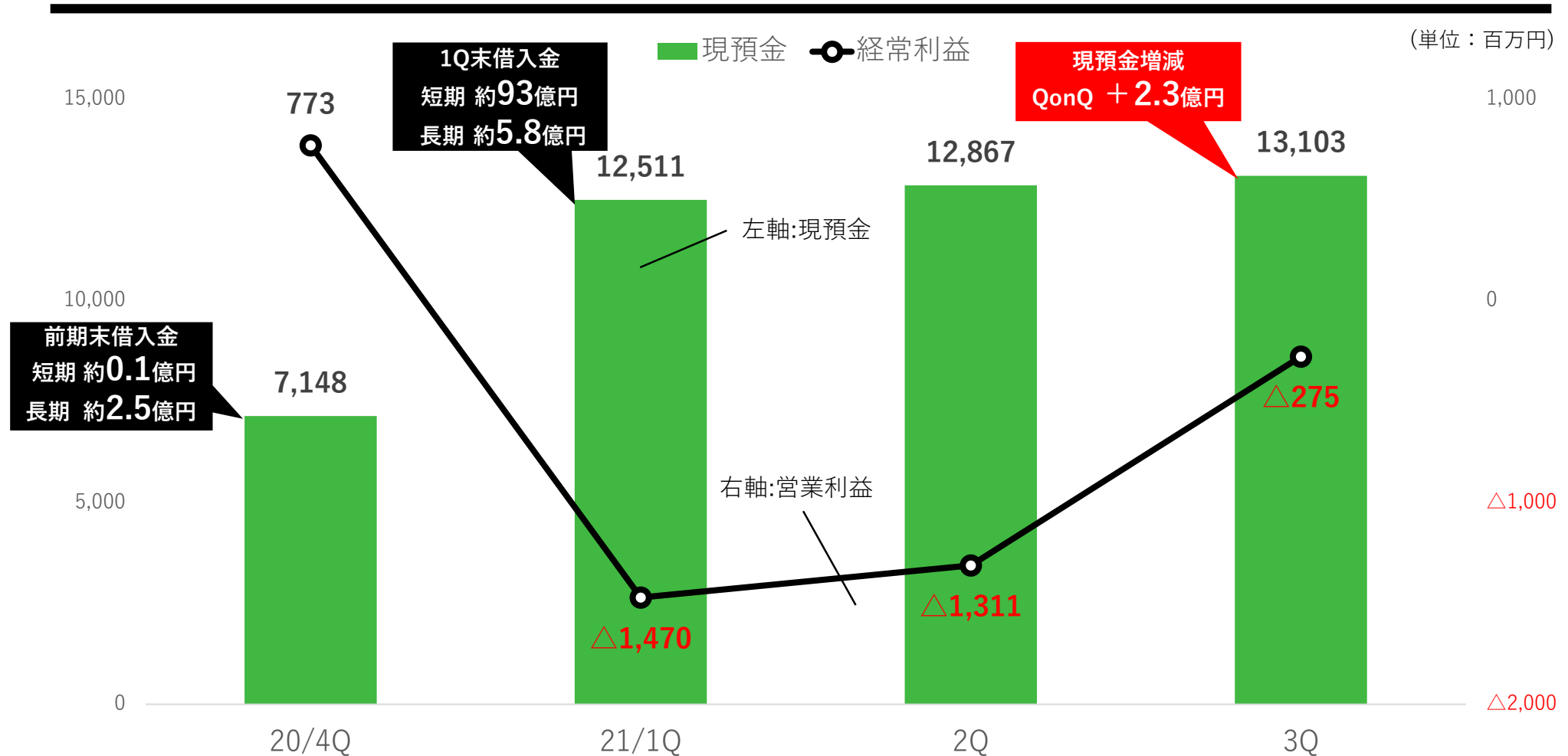


磯丸事業：磯丸水産全店、鳥良事業：鳥良、鳥良商店、おもてなし鳥良、その他事業：きづなすし、五の五、いち五郎他、連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)
 ※GoTo効果：GoToトラベルのクーポン券の利用、GoToイートのオンライン飲食予約サイト経由の予約及びプレミアム付食事券の利用を通じた売上

現預金の四半期推移

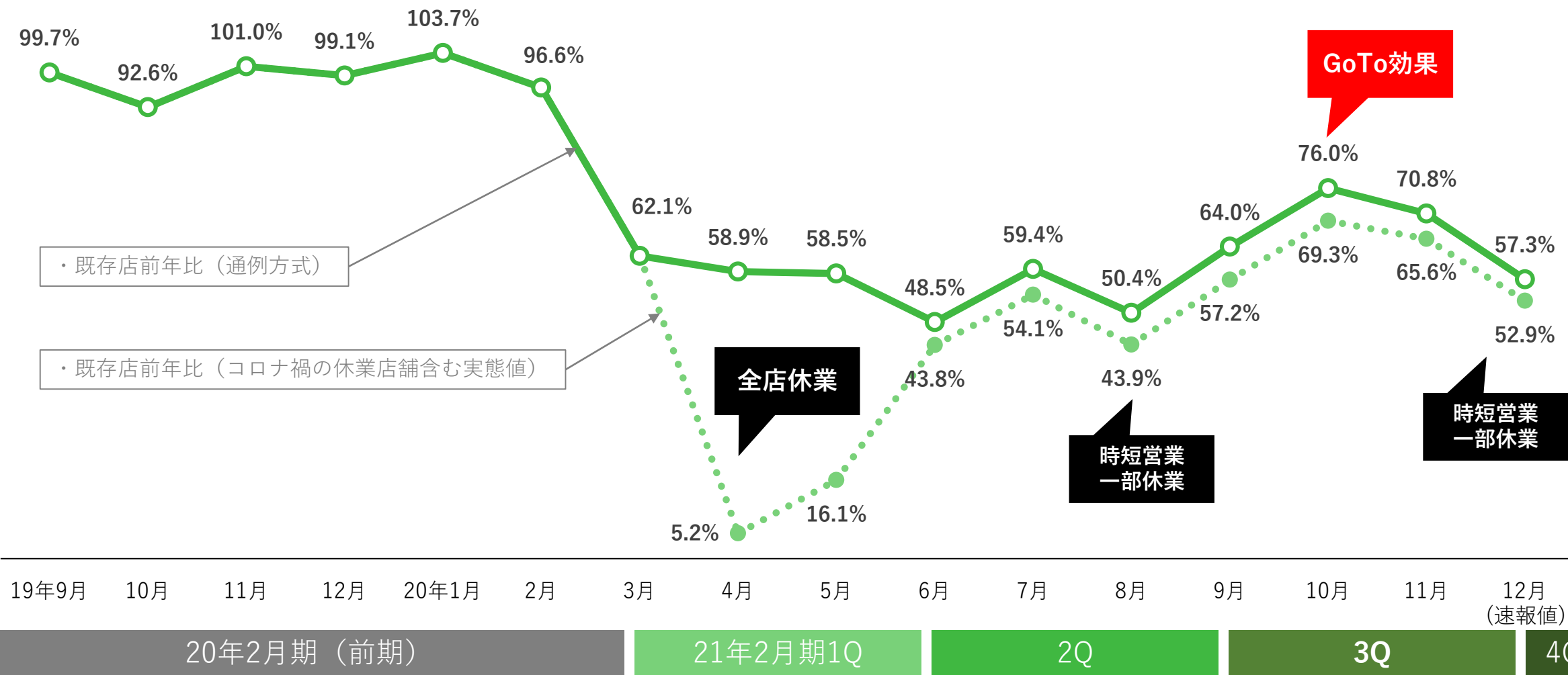
■ コロナ禍、経常赤字続いたが、コスト抑制や助成金により現金流出は限定的、キャッシュポジション堅持

現預金・経常利益の四半期推移



既存店前年比（コロナ禍）

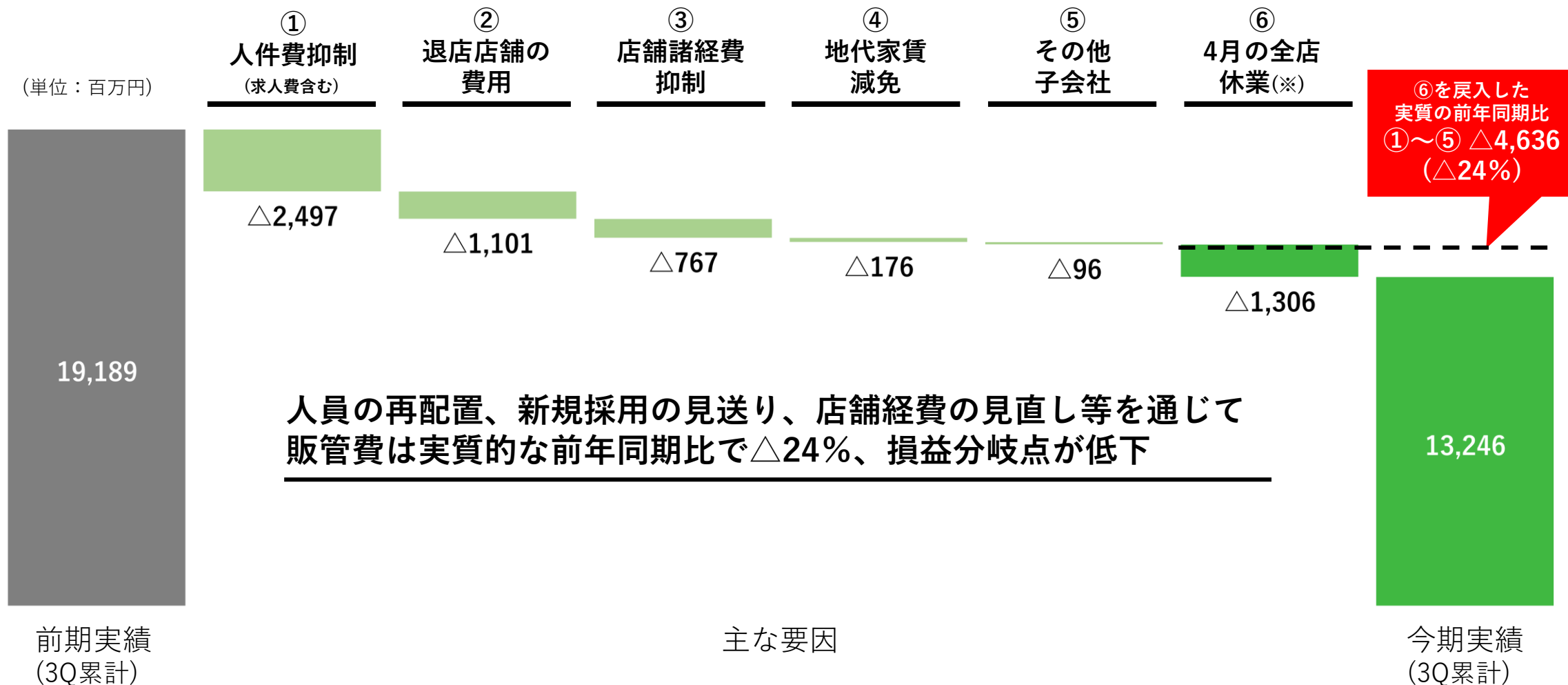
■ 10～11月、GoToキャンペーンの効果取り込み回復続いたが、11月下旬からコロナ感染再拡大で足踏み



既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗
 既存店前年比（通常方式）：1日でも休業した既存店は既存店前年比算出対象から除外

販管費抑制の効果（3Q累計）

■ 売上減に対応するためコスト抑制の取り組みを実施、販管費は実質的前年同期比で△4,636百万円(△24%)



前期実績
(3Q累計)

主な要因

今期実績
(3Q累計)

※4月の全店休業：20年4月の緊急事態宣言下における全店休業に係るすべての販管費1,306百万円は、全額特別損失として計上

損益計算書（連結）

■ 売上高は前年同期比△53.4%まで落ち込むが、原価・販管費抑制に取り組み経常利益△3,058百万円

(百万円)	2021年2月期3Q (20年3月～11月)		2020年2月期3Q (19年3月～11月)		前年同期比	
	実績	売上構成比	実績	売上構成比	増減	増減率
売上高	13,818	100.0%	29,679	100.0%	△15,860	△ 53.4%
売上原価	3,952	28.6%	8,670	29.2%	△4,717	△ 54.4%
売上総利益	9,865	71.4%	21,008	70.8%	△11,143	△ 53.0%
販管費	13,245	95.9%	19,187	64.6%	△5,941	△ 31.0%
営業利益	△3,380	-	1,821	6.1%	△5,201	-
営業外収益	369	-	312	-	57	-
営業外費用	48	-	31	-	16	-
経常利益	△3,058	-	2,102	7.1%	△5,161	-
特別利益	1,704	-	65	-	1,638	-
特別損失	2,386	-	286	-	2,100	-
税引前当期純利益	△3,741	-	1,881	6.3%	△5,623	-
法人税等合計	△234	-	693	-	△928	-
当期純利益	△3,506	-	1,188	4.0%	△4,695	-

百万円未満は切り捨てて表示

貸借対照表（連結）

■ コロナ禍、最終赤字計上も現預金131億円、自己資本比率47.6%

(百万円)	2021年2月期3Q (20年11月末)	2020年2月期4Q (20年2月末)	増 減	要 因
流動資産	14,558	8,727	5,831	
うち現預金	13,103	7,148	5,955	短期借入金の増加の影響
固定資産	12,487	14,248	△ 1,760	主に退店に伴う資産の減少
投資その他の資産	4,664	4,943	△ 279	主に敷金・保証金の減少
資産合計	27,046	22,975	4,070	
流動負債	12,357	4,881	7,475	
うち有利子負債	9,572	137	9,434	主に短期借入金 +9,340
固定負債	1,816	1,722	94	
負債合計	14,174	6,604	7,570	
自己資本	12,872	16,380	△ 3,499	主に利益剰余金 △3,506
純資産合計	12,872	16,371	△ 3,499	
負債・純資産合計	27,046	22,975	4,070	

百万円未満は切り捨てて表示

ネットD/Eレシオ(倍)	△ 0.3	△ 0.4	0.1
自己資本比率	47.6%	71.3%	△ 23.7%

出退店の状況

■ コロナ以前から苦戦していた店舗、コロナ禍赤字の店舗を中心に22店舗の退店を実施

(単位：店舗数)

(店舗数)	前期末	20/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
磯丸水産	122	123	123	122	122	122	121	120	117	117
鳥 良	69	69	69	67	67	67	67	66	65	61
その他	30	31	31	32	32	32	31	31	31	28
連結子会社	40	40	40	40	37	37	37	37	37	37
F C	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15
計 (月末店舗数)	275	277	277	276	273	273	271	269	265	258
出 店 計5	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0
退 店 計22	0	1	2	1	3	0	2	2	4	7
増減 △17	0	2	0	△1	△3	0	△2	△2	△4	△7
今期累計 増減△17(出店5 退店22)										

磯丸水産：磯丸水産全店、鳥良：鳥良、鳥良商店、おもてなし鳥良、その他：きづなすし、五の五、いち五郎他、連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)
FC：磯丸水産、からあげセンター(クルークダイニング)

コロナ禍の取り組み

① 安心安全な店づくり・10の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策(厚生労働省)の基本的対処方針を踏まえ、全店で感染防止の為に「10の取り組み」を実施しております。

<SEFP 大切なお客様へ～10の取り組み>

大切なお客様へ～10の取り組み

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

アルコール除菌を
徹底します

間隔を開ける
アクリル板を設置
にてご案内します

店内換気のいいお店！
5分に1回、店内の換気をして
空気を入れ替えております。

従業員の手洗いを
徹底します

- ① 従業員のマスク着用の推奨**
従業員のマスクの着用の推奨と手や指の殺菌を徹底します。
- ② アルコール消毒液の設置**
店舗入口付近にアルコールを設置し、お客様にアルコール除菌のご協力頂いております。
- ③ テーブル間隔を開けてご案内**
お客様のお席は、適度な間隔を開けてご案内します。または、アクリル板を設置し飛沫感染防止に努めます。
- ④ 使用後の消毒**
メニューブック・タブレットはお客様のお会計後に消毒しております。
- ⑤ ご利用時にお渡し**
取り皿やお箸はお客様の着席後に提供いたします。(調味料・楊枝も下げておりますので 必要な際はスタッフにお申し付け下さい)
- ⑥ 店内の換気**
当店は排気ダクトによる独自の換気システムを店全体に導入しております。店内の空気は5分に1回入れ替わる計算で設計しています。その為、換気の良い状態で楽しんでいただけます。
- ⑦ ジェットタオルの使用停止**
ウイルス拡散を防止する為、トイレ内のジェットタオルの使用を停止いたします。
- ⑧ 店内の消毒**
定期的に入口ドア、トイレのドアノブ、手すりなどの消毒を行っております。
- ⑨ キャッシュトレイの使用**
お会計時には、キャッシュトレイを使用させて頂いております。
- ⑩ 従業員の検温と体調管理**
万が一、発熱や体調不良の際には、勤務せず、自宅待機させております。

② メニュー見直しによるロス削減

グランドメニューの見直しにより、**食材ロスの削減、オペレーションの改善**に取り組み、効率的な店舗運営を実現



コロナ禍の取り組み

③ テイクアウト拡充・デリバリー開始(5月～)

丼物を中心としたテイクアウトメニューに加え、
浜焼き・オードブル・お弁当などを大幅拡充。
磯丸水産や鳥良商店において、
「LINEポケオ」「Uber Eats」「出前館」を
導入いたしました。



「磯丸水産テイクアウトメニュー」

④ デリバリー専門店の展開(7月～)

直営既存店のキッチンを活用したデリバリー専門店の
展開を開始いたしました。

「うなぎの岡島」(7月21日)

「からあげ専門店 巨匠の食卓」(9月1日)

「Uber Eats」、「出前館」よりご注文いただけます。



「うなぎの岡島」



「からあげ専門店 巨匠の食卓」



「出前館」



「UberEats」

コロナ禍の取り組み

⑤ デリバリー専門店「からあげ専門店 巨匠の食卓」・「うなぎの岡島」が既存店舗とコラボレーションしてリニューアルオープン

デリバリー専門店の「からあげ専門店 巨匠の食卓」・「うなぎの岡島」が既存店舗とコラボレーション（併設）してリニューアルオープンいたしました。今まではデリバリーでしか味わえなかったメニューを、下記店舗ではイートイン・テイクアウトでお楽しみいただけるようになりました。



鳥良商店 荻窪南口店「からあげ専門店 巨匠の食卓」とのコラボ店舗



磯丸水産 相模大野店「うなぎの岡島」とのコラボ店舗



- 「からあげ専門店 巨匠の食卓」とのコラボ店舗
- ・鳥良商店 荻窪南口店
 - ・鳥良商店 北千住東口店
 - ・鳥良商店 川越店
 - ・鳥良商店 浅草すしや通り店 計4店舗

コラボ店舗限定メニュー「秘伝塩からあげ定食」



- 「うなぎの岡島」とのコラボ店舗
- ・磯丸水産 相模大野店 計1店舗

コラボ店舗イートイン限定メニュー「ひつまぶし」

今後の取組み

■ 収支構造の見直し及び新たなビジネスモデルの構築を目指す

①不採算店舗の退店	コロナ禍による外部環境の激変を受け、不採算となった店舗については適切なタイミングで退店の可否を判断、収支の改善を図る。
②新たなビジネスモデルの構築	既存店舗を活用したデリバリー専門店の展開等による<withコロナ時代>に適応する新たなビジネスモデルの構築、売上プラスオンを目指す。
③コーポレート業務の効率化とコスト削減	グループ内のシェアードサービス機能を担う合併会社設立(株式会社クリエイティブ・サービス)、コーポレート業務の共通化・標準化によるコスト削減を図り、グループ全体のコーポレート業務の効率的運用を目指す。
④役員報酬の自主返上の継続	新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ 2020年4月より実施している役員報酬の自主返上について、最近の業績動向を踏まえ更に2020年10月から期末まで(5カ月間)の延長を決定。

業績ガイダンス（変更あり）

■ 緊急事態宣言発出（21年1月）の影響により、4Qは一時的に失速、通期業績予想を下方修正

業績の見通しの修正について

- ✓ コロナ感染再拡大および21年1月の緊急事態宣言発出により、回復傾向にあった売上高は4Qにかけて一時的に失速
- ✓ 販管費抑制の取り組みを通じて損益分岐点が低下しており、損失リスクは低減（販管費）
- ✓ 当初想定していたより多くの退店を決定（減損損失）
- ✓ 繰延税金資産の回収可能性を保守的に見直し（法人税等）

(百万円)	20年2月期 (19年3月～20年2月)	21年2月期 (20年3月～20年11月)	21年2月期 (20年3月～21年2月)		
	前期実績	3Q累計実績	前回見通し(20年7月)	今回見通し	前回差異
売上高	40,216	13,818	25,000	18,500	△ 6,500
営業利益	2,549	△3,380	△ 2,500	△4,300	△ 1,800
経常利益	2,914	△3,058	△ 2,200	△ 4,000	△ 1,800
純利益	1,461	△3,506	△ 1,300	△ 3,800	△ 2,500

Appendix

株主還元について（再掲）

損益計算書 四半期別

既存店前年比

株主還元

■ コロナ禍、業績悪化により中間配当は無配、期末配当予想は未定

2021年2月期 中間配当および期末配当

コロナ禍による業績悪化により、中間配当は**無配**、先行き不透明につき、期末配当予想は**未定**とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

2020年8月31日以降の権利確定分の株主優待券

従来通り、毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1单元（100株）以上ご所有の株主様を対象として**株主優待券を贈呈**いたします。コロナ禍、退店・臨時休業・時短営業等でご迷惑をおかけしておりますが**有効期限の延長は行っておりません**。何卒ご了承いただけますようお願い申し上げます。

年2回 お食事券 贈呈	基準日	2月末日	8月31日
	贈呈時期	6月上旬頃	11月中旬頃
保有 株式数	100株～499株	お食事券 4,000円分	お食事券 4,000円分
	500株～999株	お食事券 10,000円分	お食事券 10,000円分
	1,000株～	お食事券 20,000円分	お食事券 20,000円分



損益計算書（連結） 四半期別

(百万円)	2020年2月期 (19年3月～20年2月)				2021年2月期 (20年3月～11月)		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	10,191	9,888	9,599	10,537	3,044	4,789	5,984
鳥良事業	2,767	2,528	2,393	2,653	702	935	1,276
磯丸事業	5,826	5,701	5,586	6,000	1,703	2,900	3,600
その他事業	1,233	1,173	1,123	1,221	359	547	697
連結子会社	364	485	495	661	279	406	410
売上原価	2,928	2,924	2,818	3,021	914	1,379	1,657
売上総利益	7,262	6,964	6,781	7,516	2,129	3,410	4,326
販管費	6,325	6,415	6,446	6,788	3,709	4,827	4,709
営業利益	936	549	334	727	△1,580	△1,417	△382
営業外収益	127	90	93	91	118	128	122
営業外費用	8	10	12	45	9	22	15
経常利益	1,056	630	416	773	△1,470	△1,311	△275
特別利益	65	0	0	81	1,057	462	183
特別損失	27	247	11	424	1,671	361	353
税引前当期純利益	1,094	382	404	430	△2,084	△1,210	△446
法人税等合計	371	151	170	157	△619	△381	766
当期純利益	723	230	233	273	△1,465	△828	△1,212

百万円未満は切り捨てて表示

貸借対照表（連結） 四半期別

(百万円)	2020年2月期 (20年2月末)	2021年2月期		
		1Q (20年5月末)	2Q (20年8月末)	3Q (20年11月末)
流動資産	8,727	14,389	14,019	14,558
うち現預金	7,148	12,511	12,867	13,103
固定資産	14,248	14,479	14,173	12,487
投資その他の資産	4,943	5,484	5,778	4,664
資産合計	22,975	28,869	28,193	27,046
流動負債	4,881	11,958	12,234	12,357
うち有利子負債	137	9,470	9,610	9,572
固定負債	1,722	2,002	1,876	1,816
負債合計	6,604	13,960	14,110	14,174
自己資本	16,380	14,915	14,086	12,872
純資産合計	16,371	14,908	14,082	12,872
負債・純資産合計	22,975	28,869	28,193	27,046

百万円未満は切り捨てて表示

既存店前年比

2020年2月期	19年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月
前年比	98.6%	96.6%	98.3%	97.1%	100.2%	102.3%	99.7%	92.6%	101.0%	99.1%	103.7%	96.6%
既存店数	217	219	221	224	244	243	238	237	242	235	233	227

< 通例方式 >

2021年2月期	20年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 (速報値)
前年比	62.1%	58.9%	58.5%	48.5%	59.4%	50.4%	64.0%	76.0%	70.8%	57.3%
既存店数	237	5	6	198	203	193	197	198	200	194

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗(通例)

既存店前年比（通例方式）：1日でも休業した既存店は既存店前年比算出対象から除外

< コロナ禍の休業店舗含む実態値 >

2021年2月期	20年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 (速報値)
前年比	62.1%	5.2%	16.1%	43.8%	54.1%	43.9%	57.2%	69.3%	65.6%	52.9%
既存店数	237	238	239	236	237	233	231	226	222	216

既存店前年比（コロナ禍の休業店舗含む実態値）：休業した既存店を既存店前年比算出対象として算入

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競争状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

SFPホールディングス 経営企画部

TEL： 044-750-7154

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>